

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度 第2回入間市総合教育会議
開 催 日 時	令和元年11月18日(月) 午前10時00分 開会、午前11時45分 閉会
開 催 場 所	市庁舎B棟5階 第4委員会室
議 長 氏 名	-
出席委員(者)氏名	市長 田中龍夫 教育長 西澤泰男 教育長職務代理者 河村佳樹 教育委員 高山茂 教育委員 橋本清美
欠席委員(者)氏名	教育委員 山本和人
説明者の職氏名	こども支援部こども政策室長 黒木聡子 こども支援部青少年課長 須田直樹 危機管理課長 半田英樹
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(すべて公開) 1. 開 会 2. 挨 拶 3. 協議・調整事項 (1) 災害時における避難所開設について (2) その他 4. 報告事項 (1) 入間市子ども・若者未来応援プラン(素案)について 5. その他 6. 閉 会
傍 聴 者 数	-

配 布 資 料	資料１：台風１９号の避難情報の発令及び避難者数について 資料２：入間市子ども・若者未来応援プラン（素案）について
関係者職氏名	○こども支援部 こども支援部長 原嶋裕子、こども支援部次長 佐藤政史 こども政策室長 黒木聡子、青少年課長 須田直樹 ○危機管理課 危機管理監 長谷川芳明、危機管理課長 半田英樹 ○教育部 教育部長 新見輝明、教育部次長 関谷佳代子 教育部参事兼学校教育課長 北野晃 教育総務課長 鹿山泰隆、教育総務課主幹 千葉茂
事務局職員職氏名	○企画部 企画部長 鳥山政之、企画部次長 浅見嘉之 企画部参事兼企画課政策推進室長 岩田正博 企画課政策推進室副主幹 森正行、企画課政策推進室主任 小島秀章
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

<協議・調整事項>

(1) 災害時における避難所開設について

台風19号を受けて、避難所として開設した各公民館、小中学校の避難所開設にあたっては、様々な課題が残った。特に、学校施設の避難所開設にあたっては、職員動員体制の整備や避難所開設時の対応について課題があるので、危機管理課で課題を整理・検討し、今後の防災体制の整備に活かしていくこととした。

<報告事項>

(1) 入間市子ども・若者未来応援プラン(素案)について

入間市子ども・若者未来応援プラン(素案)について、こども支援課こども政策室より説明の後、各委員から同プランについて意見聴取を行った。

(2) その他

藤沢東第二学童保育室整備の進捗状況について、青少年課より説明を行った。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する) <進行：鳥山部長>
	1. 開会
	2. 挨拶
	3. 協議・調整事項
鳥山部長	(1) 災害時における避難所開設について 議題について危機管理課より説明願う。
半田課長	それでは「災害時における避難所開設について」、資料に沿って説明する。(資料1を説明)
鳥山部長	小中学校については、これまでも避難所として指定していたが、これほど大きく開設するのは今回が初めてのことであった。教育に与える影響や地域との関連性も含めて意見交換を行い、今後の避難所運営の参考にするため、今回議題として取り上げさせていただいた。 それでは、ただいまの説明を踏まえ議題について意見交換を行う。何か意見等あるか。
田中市長	台風19号の対応については、各地区でいろいろと不満の声を聞いている。公民館の避難所開設時間と小中学校を避難所として開設したことに係る課題について伺いたい。
半田課長	公民館の避難所開設については、開館時間と同時刻の午前8時30分で

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>ある。小中学校の避難所開設にあたっての課題として、今回、午前１０時に避難所として開設したが、避難所対応員（近隣在住の市職員）の到着が間に合わない避難所があったことや避難所運営が不慣れなため、学校側や地域住民に迷惑をかけてしまったことが挙げられる。</p> <p>小中学校の避難所開設について、マニュアル上では何人に対応することになっているのか。</p>
半田課長	<p>職員動員体制上では避難所対応員として、小学校は給食調理員及び近隣在住職員２～４名体制、中学校は近隣在住職員１名の体制をとっている。人員不足の避難所については、順次職員を動員する体制となっているが、職員と連絡が取れないことや、到着までに時間がかかってしまうこと等により人員の確保が困難であった。</p>
田中市長	<p>小中学校で雨漏りがあったと聞いているが、普段から雨漏りしているのか。</p>
新見部長	<p>２７校中１８校の体育館で雨漏りを確認している。通常の雨であれば雨漏りはないが、長時間にわたって大雨が降ったり、風が強かったりすると雨漏りが発生する状況であると聞いている。</p>
田中市長	<p>小中学校については、避難所が体育館のため空調がない状況である。今後は、冷暖房が完備されている普通教室を避難場所として使用できるか、といったことも含めて課題整理していく必要がある。</p>
半田課長	<p>避難場所における空調設備の導入については、国や県に要望していくことも考えている。</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	<p>今回、避難所の利用にあたって避難者がゴミを片付けなかったり、毛布をたたまなかったりというケースがあった。このような状況であると、学校の普通教室を避難場所として使用することはなかなか困難であると考えている。</p> <p>小学校の避難所対応員について、先ほど2～4名体制との話があったが、避難所開設の際は、常時この人数を配置しているのか。</p>
半田課長	<p>職員のローテーションもあるが、少なくとも常時2名体制をとっている。</p>
西澤教育長	<p>中学校の避難所対応員は1名とのことだが、なぜか。</p>
半田課長	<p>小学校の場合は給食調理員がいるので動員体制上多く配置できるが、中学校は給食調理員がいないため、職員1名の配置となっている。しかし、実際には避難所対応員を兼務している地区防災員がいるので、人員不足の場合はそういった職員も含めて対応している。</p>
西澤教育長	<p>避難者数について、教育委員会は1時間ごとに報告を行っており、学校によっては3桁に及ぶ避難者があった。実際の職員配置はどうだったのか。</p>
半田課長	<p>避難者数に対して十分な職員を配置することが出来ないところもあったが、2～3名を配置することができた。</p>
西澤教育長	<p>今回の災害では、情報が錯綜していた。国や市、各メディア等で提供する情報が異なっていたように感じた。災害時における情報の共有について</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>は、今後一番の課題であると考えます。また、避難所にテレビを置いて正確な情報が得られれば、避難者の精神の安定につながると感じた。</p>
鳥山部長	<p>先ほど教育長から話があったが、避難所開設時の対応はどうだったのか。</p>
半田課長	<p>避難者で片付けを行ったところがあれば、職員で行ったところもある。</p>
鳥山部長	<p>学校運営に影響を与えてしまうことでもあるので、避難所開設時の対応についても、今後の課題と捉えさせていただく。</p>
田中市長	<p>防災訓練に限らず、こういった時には自主防災会やそれ以外の地域の団体を活用していく等の体制があった方が良いかもしれない。</p>
鳥山部長	<p>地域コミュニティの活用についても、今後検討していく必要がある。</p>
河村委員	<p>最近是自己責任や自治というものが希薄になってきており、今回の災害への対応についても相当の方が苦勞したのではないかと。何でも行政、教育委員会の責任にすることは良くない。自己判断力を向上させるような訓練を行うことも大切ではないかと考える。</p> <p>今回の災害においては、商業施設が臨時休業を行う等の対策を行っており、賢明な判断であったのではないかと。</p> <p>車を使つての避難については、冠水した道路を通行する際の危険や避難所駐車場のキャパシティの問題等、様々な課題があると考えます。</p>
橋本委員	<p>藤沢地区では、「元気が出るふじさわ未来ネット」というまちづくりネットワークを立ち上げている。このネットワークの中には、消防団や防災</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>に関係した人もいるので、学校や公民館等の避難所運営の際、職員が少ないときなどには協力を行っている。今後もいろいろな形で協力していければと考えている。</p> <p>防災訓練では、黄色いタオルを玄関に吊る下げ、生存のPRを行う訓練など様々な工夫を行っている。</p> <p>先ほど市長も話していたが、地域コミュニティの力を活用してことが今後大切であると考えます。</p>
半田課長	<p>災害等について、今後はもっと自主防災会等の地域の力を活用していきたいと考える。</p>
鳥山部長	<p>自主防災会だけでなく、それ以外の地域コミュニティについても活用を図っていく必要がある。</p>
高山委員	<p>今回は未曾有の台風だったこともあり、各学校長から避難所対応がとても大変であったと聞いている。また、10月12日（土）10時00分に警戒レベル4避難勧告を発令し、同時に小中学校の避難所を開設となっているが、避難所開設にあたって職員がなかなか参集せずに学校側で対応した場所もあったと聞いている。避難所開設にあたっては、職員に早めに知らせ、開設時にはすでに職員がいる状態にする必要がある。学校側だけの対応は非常に困難である。</p>
半田課長	<p>基本的には職員に対して、事前に参集の連絡を行っているが、連絡が取れなかったところについて対応が遅れてしまったものとする。</p>
高山委員	<p>急なことで対応が遅れてしまうことがあるかもしれないが、学校を避難所として開設するのであれば、すぐに駆け付けられる職員、学校に詳しい</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>職員を配置しなければいけない。また、今回のように避難者が多くいる場合、2～3人程度の職員ではとても対応できない。また、閉設の際の片付けについても、学校運営に大きな影響が出るので、学校側も当然協力するが、しっかりと対応できるように、各避難所において職員数を増やす等の人的な措置が必要である。</p> <p>夏に行われる防災訓練では、毎年同じような訓練を行うのではなく、学校等を使用して避難所対応訓練を実施した方が良いと考える。</p> <p>自力で避難できない人への対応もしっかりとしてほしい。民生委員や自主防災会等の地域コミュニティの力を活用して、工夫して対応を図ってほしい。</p>
鳥山部長	<p>各委員から様々な意見をいただいた。指摘事項を踏まえて、今後の防災体制の整備に活かしていくこととする。</p> <p>他に意見等あるか。</p>
橋本委員	<p>公民館を避難所として開設した場合、職員は何人配置されるのか。</p>
半田課長	<p>2～3名体制で配置している。</p>
田中市長	<p>高倉公民館について、避難者がいっぱいになり受け入れを拒否したというような話を聞いているが、事実か。また、高倉公民館の避難者数は70人となっているが、70人でいっぱいになってしまうものなのか。</p>
新見部長	<p>実際に、高倉公民館については、70人の避難者でいっぱいの状態であるということを避難者に伝えたという話は聞いている。</p>
田中市長	<p>それが事実であれば、しっかりと対応を図っていかなければならない。</p>

発 言 者	発 言 内 容
鳥山部長	<p>有耶無耶にせずに、しっかりと確認してほしい。</p> <p>各課題については、危機管理課で整理し、今後の防災体制の整備に活かしていく必要がある。特に教育関連では、避難所として学校施設を使用しているのもう少し入念に体制整備の考え方について整理すること、また、避難所開設時の対応として、速やかに通常の学校運営が出来るようにすることが課題であるので、今後しっかりと検討していくこととする。</p>
西澤教育長	<p>避難所として開設した公民館や学校において、危険のため別の避難所に移動したというような話も聞いている。避難者を別の避難所に移動させることは危険も伴うので、施設によっては最初から避難所として開設しない場所もあった方が良く考える。</p>
鳥山部長	<p>いただいた意見については、危機管理課で整理し改善に努めていきたい。</p> <p>それでは、議題の「（１）災害時における避難所開設について」はここまでとさせていただきます。</p> <p>続いて、「（２）その他」ということで、これまでの議論の他に協議事項等あれば発言願う。</p> <p>＜特になし＞</p> <p>４．報告事項</p> <p>（１）入間市子ども・若者未来応援プラン（素案）について</p>
鳥山部長	<p>こども支援部より説明願う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒木室長	入間市子ども・若者未来応援プラン（素案）について、資料に沿って説明する。（資料２について説明）
鳥山部長	今回、委員の方には事前に意見書を配付しており、意見がある場合は意見書に記入の上、提出いただくことをお願いしている。意見書に記入いただいた意見、また、ただいまの説明を踏まえての意見や質疑等あれば伺いたい。
西澤教育長	全体的にグラフが見にくいので、もう少し分かりやすいものにしてほしい。P５３～５４について、「いじめ認知件数」や「不登校児童生徒数」等のグラフがあり、それぞれ数字が増加した結果だけが掲載されているが、増加した背景・理由も併せて掲載した方が良いと考える。
河村委員	あくまでも計画書であるため、策定して終わりということではない。 今回の計画書について、厚みがあり分かりにくいと感じる。本計画が有効的に活用され施策が進行するためには、役所側の考えだけではなく現場の意見を吸収し、最終的には市民の方に分かりやすい計画とすることが大切であると考えている。
橋本委員	P３１に「茶おちゃお」とあるが、幼児のみが対象か。
北野参事	「茶おちゃお」は幼児の通級指導教室である。
西澤教育長	その他に小中学生を対象とした通級指導教室として、「ちゃいむ教室（小学生）、ちゃんす教室（中学生）」がある。
橋本委員	P６６の事業番号７２及び８５について、中学生・高校生に対しては学

発 言 者	発 言 内 容
黒木室長	<p>習教室を開催するとあり、小学生に対しては学習支援を行うと記載されている。小学生に対しての学習教室は開催しないということか。</p> <p>小学生に対しても学習教室の開催を予定しているが、小学生に対しては勉強だけでなく、子ども同士の交流や、こども食堂のような食事の提供といった集団生活の支援等も視野に入れている。最初から全て食事付きでの実施が可能か検討中だが、現在3箇所で開催している中学生・高校生の学習支援教室の1箇所で、早い時間から小学生を受け入れて実施することを想定している。今年度は試行的に食事の提供を検討しており、本格実施は令和3年度頃からと考えている。</p>
橋本委員	<p>現在実施しているこども食堂は、生活困窮者だけを対象としたものではないということで良いか。</p>
黒木室長	<p>現在7箇所で開催しているこども食堂は、誰でも受け入れ可能としたコミュニティ型である。今後、学習支援の中で実施しようとしているものは、生活困窮者等を対象としており、ケア型のこども食堂という位置づけになるものと考えられる。</p>
高山委員	<p>個人的なことだが、保育所入所について、自分の子どもが住んでいる地域では3歳からの入所は困難であると聞いた。入間市の場合はどうか。</p>
黒木室長	<p>入間市の場合は逆に0～2歳で待機児童が生じており、3～5歳の方がまだ少し余裕のある状態となっている。</p>
高山委員	<p>入間市子ども・若者未来応援プランについて、0歳から概ね30歳までの子ども・若者への支援を盛り込んだ計画であるが、もう少し分かりやす</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>くまとめてもらえればより良いものとなると思う。</p> <p>安心して子育てをするには、医療と教育環境がしっかりと整備されている必要がある。どこの地域に住んでいても、安心して医療や教育が受けられるように、環境を充実していかなければいけない。また、子どもの健全育成にあたっては、部活動は切っても切り離せないものである。学校の統廃合も視野に入れながら、若者の夢や希望が叶えられるようなプランにしていってほしい。</p> <p>いい計画が出来ているのだから、市民の目に留まるよう特集を組む等の工夫をしていくことが大切である。また、索引があるとより分かりやすくなると思う。</p>
鳥山部長	<p>各委員からいろいろ意見をいただいたが、他に意見・質疑等あるか。なければ、「入間市子ども・若者未来応援プラン（素案）」については、ここまでとさせていただく。</p> <p>用意していた報告事項は以上であるが、その他に何か報告等あるか。</p>
須田課長	<p>こども支援部青少年課より「藤沢東第二学童保育室の整備」について、報告させていただく。</p> <p>藤沢東小学校の校舎内に設置している藤沢東学童保育室については、入所を希望する児童が増加しており、定員数を40名増員したいため新たに第二学童保育室を整備するものである。</p> <p>当初計画では、空き教室がないことから、小学校グラウンドの南側角地に学童保育室を建設する予定であったが、教育委員会、藤沢東小学校長に配慮いただき、英語教室と多目的室として使用していたプレハブ校舎を改修し、学童保育室として使用させていただくこととなった。</p> <p>入所を待ち望んでいる児童がいる中、令和2年4月1日の開室に向けて</p>

発 言 者	発 言 内 容
	準備を進めている。工事期間中は学校現場に迷惑をかけることになるかと思うが、協力をお願いする。以上、報告とさせていただきます。
鳥山部長	ただいまの報告について質疑等あるか。なければ、報告事項についてはここまでとさせていただきます。
	5. その他
鳥山部長	その他ということで、何かあるか。
高山委員	学校統廃合の進捗状況はどうなっているか。
新見部長	宮寺・二本木地区及び西武地区においては、それぞれ学校統合地区検討会議というものを立ち上げており、概ね2カ月に1回程度会議を開催している。これまで、それぞれの地区で3回ずつ開催しているが、現在は課題についての情報共有を図っている状態であり、今後、個別具体的に課題整理に向けて進めていくことになる。
鳥山部長	他に何かあるか。なければ、連絡事項として、事務局より、次回の総合教育会議の日程について申し上げる。
岩田参事	次回の総合教育会議は令和2年2月3日（月）午後1時～3時を予定している。議題等の詳細については未定であるが、市長部局と教育委員会で調整し、整い次第連絡させていただきます。
	6. 閉会
鳥山部長	以上で閉会とする。

発 言 者	発 言 内 容
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p>	
<p>令和元年12月27日</p>	
<p>市 長 の 署 名</p>	<p>田 中 龍 夫</p>
<p>教 育 長 の 署 名</p>	<p>西 澤 泰 男</p>